

◎ 学校図書館のさらなる充実を

問 平成17年から図書館サポーターが配置されたが、その仕事内容と成果はどうか。

答 現在5名のサポーターが3〜4校を担当し、市内全小・中学校を週1日以上巡回している。1日4時間、年間160日の勤務を基本とし、蔵書管理などを行っており、図書貸し出し数も順調に伸びている。

問 三島市や富士市などでは全小中学校に図書館司書が配置されている。本市でも人員や勤務時間数を増やすことが必要ではないか。

答 当面は現状の体制で進めていきたい。保護者や地域住民によるボランティアの力を借りながら、有意義な学校図書館運営を目指し、質的向上を工夫していく。

◎ 緊急の経済対策が必要では

問 長引く不況により、中小企業の経営が厳しい。市独自の経済対策を打ち出す考えはないか。

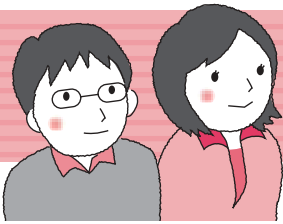
答 国の補正予算が11月末に追加されているため、12月に追加補正を考えたい。事業化の際は、市内業者に発注できるように配慮していきたい。



サポーターが配置された学校図書館

市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして



◎ 子ども医療費助成制度の拡充は

問 掛川市は、小学校3年生まで、1回500円負担で通院できるが、本市も拡充の検討をすべきでは。

答 本市では、小学校就学前の子どもの通院にかかる自己負担額を無料としており、今の段階では、現行の制度を継続していきたい。また、このような助成制度は、県下で統一するべきと考えている。

◎ 中心市街地構想は

問 中心市街地活性化基本計画を白紙に戻した後、まちづくりのビジョンが示されていないがどうか。

答 計画の再策定について、商工会議所と改めて話し合っていくとともに、ソフト面の推進も必要であると考える。

◎ 旧クリーンセンターの跡地利用は

問 今後のスケジュールと具体的な進め方は。

答 施設の解体は、防火や防犯上の問題、また景観等の観点からも、早い段階で行う。跡地利用については、有効な活用が期待される貴重な市有地であるので、よく検討し、地元の見解も伺いながら進めていく。



跡地利用が検討される旧クリーンセンター